



タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS2332		
科目名	オリンピック・パラリンピック論		
担当教員	小山 裕三,上野 広治,近藤 克之		
対象学年	2年	開講学期	後期
曜日・時限	火 2		
講義室	1205	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門基礎		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1 - D〔市民的素養・市民的教養〕 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP2 - A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 DP2 - B〔自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢〕 自己の存在意義を知り、自らを高め続けようと努力することができる。 DP7 - C〔他者理解・倫理観・公共心〕 人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンレブリック（C R）との関連 D1 市民的素養と参加 — 40% A1 グローバル感覚 — 10% A2 異文化適応 — 10% B1 自己啓発 — 20% C1 倫理的思考・社会認識 — 20%		
教員の実務経験	オリンピックに関する内容は、長年オリンピックに係る業務に従事してきた教員（高度なコーチングを通じたオリンピック選手の輩出、テレビ解説、日本代表選手団や競技団体のマネジメント等、多数の実務経験を有している）が担当します（第1から10回）。また、パラリンピックに関する内容についても、パラ競技者の支援やパラリンピックの帯同を行ってきた教員が担当します（第11回から第14回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進期期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	本講義は、世界最大級のスポーツイベントであるオリンピック・パラリンピックの歴史的背景から競技者としてのオリンピックの価値、さらに実際の運営まで幅広い知見について学修します。さらにオリンピックが抱える課題や、今後のオリンピックのあり方、パラリンピックの成長についてオリンピック・パラリンピックに関連する実務経験を持つ教員による学びが展開されます。授業形態は資料・視聴覚教材等を用いて講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード： オリンピックムーブメント・近代オリンピック・パラリンピックスポーツ		
授業の趣旨	■副題 オリンピックとパラリンピックを通してスポーツの意義や価値を考えよう ■授業の目的		

	本授業の目的は、受講生がオリンピック・パラリンピックに関連する様々な知識を修得することであり、それらの知識を基に、スポーツの意義や価値、さらにはその在り方を考えることを目指します。 ■授業のポイント オリンピック・パラリンピックは、夏季と冬季に分かれ4年に1度のサイクルで開催される世界最大の国際総合競技大会です。大会の実施競技では世界各国から選手が集い、自身の能力を最大限に発揮して競技に臨む様子をみることができます。オリンピックには、非常に長い歴史が存在しています。いわゆる「古代オリンピック」にまで遡り、歴史的な資料を参照することは、現在のスポーツの起源を考察することにつながり、スポーツがいかに発展してきたのかを捉えることにもなります。一方で、オリンピックと比較してパラリンピックの始まりを考えると、オリンピックとは異なる視点が存在していることにも気づくことができます。2008年の北京オリンピック・パラリンピック夏季大会からは、大会組織委員会が実質的に統合され運営されはじめました。オリンピック・パラリンピックでは、「競技スポーツ」という軸で各種競技が展開されますが、受講生の皆さんにも、参考にできる考えや知識、実践事例が多分に含まれています。日本では、スポーツ基本法が施行され、社会におけるスポーツの意義や価値、スポーツが様々な波及効果を含むものであることが示され、益々スポーツを文化として高める機運が高まっています。本科目を通して、オリンピック・パラリンピックを捉え、今後のスポーツの在り方を考えていきましょう。	
総合到達目標	■オリンピック・パラリンピックに関する歴史的背景を理解し、近年のオリンピックやパラリンピックの実態を把握することから、スポーツの価値や意義、在り方を議論するための基礎的知識を修得する。 ・古代オリンピックの様子を事例を挙げて説明できる。（第1回から第2回） ・近代オリンピックの始まりとその歩みについて、日本人に注目しながら説明できる。（第3回） ・近代オリンピックの問題点や課題点を事例を挙げて説明できる。（第4回） ・パラリンピックの始まりについて、重要な人物を認識し、その人が果たした内容を列挙できる。（第11回） ・近年のオリンピックパラリンピックの実態について、事例を挙げて説明できる。（第5回から第10回、第12回から第14回） ・日本代表選手団や国内競技団体のマネジメントについて、事例を挙げて説明できる。（第5回から第10回、第12回から第14回） ・オリンピックパラリンピックを通して自身の考えを統合し、今後のスポーツの価値や意義、在り方を記述できる。（第15回）	
成績評価方法	■リアクション・ペーパー12回（70%）：適用ルーブリック D1・A1・A2・B1・C1 （評価の観点）授業で学修した内容を正確に記述し、自身の考えが記述されているか確認します。 （フィードバックの方法）次授業時に解説を実施します。 ■小レポート2回（30%）：適用ルーブリック D1・A1・A2・B1・C1 （評価の観点）オリンピック・パラリンピックに関する自身の考えを整理し、スポーツの意義や価値、在り方についての考えが記述されているか確認します。 （フィードバックの方法）次授業時に解説を実施します。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ オリンピック・パラリンピック論について（ガイダンス含む） ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、本授業の目的、方法などのガイダンス的内容を中心とし、授業の概要を具体例を列挙して記述できるようになる（C1、D1）。 ③予習（120分） インターネット検索機能を利用し「オリンピック」と「パラリンピック」それぞれ検索（入力）し、検索結果のうち1つを選定し、その内容を熟読してくる。 ④復習（120分） 授業内資料を再読する。 ⑤担当者 小山 裕三、上野 広治、近藤 克之
	2	①授業テーマ 古代オリンピック ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、古代オリンピックの始まりやその競技の様子、参加者の特徴などを、具体例を列挙して記述できるようになる（D1）。 ③予習（120分）

	第1回授業で配布された資料を熟読してくる。 ④復 習 (120分) 授業内資料を再読する。 ⑤担当者 小山 裕三
3	①授業テーマ 近代オリンピック ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、近代オリンピックの復活やその歩みを捉え、その中で日本人の歴史について、具体例を列举して記述できるようになる (A1、A2、D1)。 ③予 習 (120分) 第2回授業で配布された資料を熟読してくる。 ④復 習 (120分) 授業内資料を再読する。 ⑤担当者 小山 裕三
4	①授業テーマ 近代オリンピックの問題点 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、政治とオリンピック、人種と民族、ドーピング、商業主義を項目として、近代オリンピックの問題点について、具体例を列举して記述できるようになる (A1、A2、B1、C1、D1)。 ③予 習 (120分) 第3回授業で配布された資料を熟読してくる。 ④復 習 (120分) 授業内資料を再読する。 ⑤担当者 小山 裕三
5	①授業テーマ オリンピックのこれから① ②授業概要 担当教員の実務経験と、第2回目から第4回目の内容を踏まえ、オリンピックのこれからについて、具体例を列举して記述できるようになる (A1、A2、B1、C1、D1)。 ③予 習 (120分) 第4回授業で配布された資料を熟読してくる。 ④復 習 (120分) 授業内資料を再読する。 ⑤担当者 小山 裕三
6	①授業テーマ オリンピックのこれから② ②授業概要 担当教員の実務経験と、第2回目から第5回目の内容を踏まえ、オリンピックのこれからについて、具体例を列举して記述できるようになる (A1、A2、B1、C1、D1)。適宜、視聴覚教材を用いて学修する。第2回目から第5回目の内容を基に、小レポート (1回目) 課題を実施する (次授業内で解説を行う)。 ③予 習 (120分) 第5回授業で配布された資料を熟読してくる。 ④復 習 (120分) 授業内資料を再読する。 ⑤担当者 小山 裕三
7	①授業テーマ 近年のオリンピックの実際 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、近年のオリンピックの実際を、具体例を列举して記述できるようになる (A1、A2、B1、C1、D1)。 ③予 習 (120分) 第6回授業で配布された資料を熟読してくる。 ④復 習 (120分) 授業内資料を再読する。 ⑤担当者 上野 広治
8	①授業テーマ オリンピック日本代表選手団の実際 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、オリンピック日本代表選手団をマネジメントする方法について、具体例を列举して記述できるようになる (A1、A2、B1、C1、D1)。

	③予 習（120分） 第7回授業で配布された資料を熟読してくる。 ④復 習（120分） 授業内資料を再読する。 ⑤担当者 上野 広治
9	①授業テーマ 国内競技団体（NF）のマネジメント ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、国内競技団体（NF）のオリンピックに向けたマネジ メントを、具体例を列举して記述できるようになる（A1、A2、B1、C1、D1）。 ③予 習（120分） 第8回授業で配布された資料を熟読してくる。 ④復 習（120分） 授業内資料を再読する。 ⑤担当者 上野 広治
10	①授業テーマ オリンピックのこれから③ ②授業概要 担当教員の実務経験と、第7回目から第9回目の内容を踏まえ、オリンピックのこれか らについて、具体例を列举して記述できるようになる（A1、A2、B1、C1、D1）。 ③予 習（120分） 第9回授業で配布された資料を熟読してくる。 ④復 習（120分） 授業内資料を再読する。 ⑤担当者 上野 広治
11	①授業テーマ パラリンピックの起源 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、パラリンピックの始まりとなった時代背景やその当 時の様子、重要な人物の活動などを具体例を列举して記述できるようになる（C1、 D1）。 ③予 習（120分） 第10回授業で配布された資料を熟読してくる。 ④復 習（120分） 授業内資料を再読する。 ⑤担当者 近藤 克之
12	①授業テーマ パラリンピックの発展 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、パラリンピックが国際的に広がりをもせた様子や障 がいのある人がスポーツを行う意義を、具体例を列举して記述できるようになる（A1、 A2、B1、C1、D1）。 ③予 習（120分） 第11回授業で配布された資料を熟読してくる。 ④復 習（120分） 授業内資料を再読する。 ⑤担当者 近藤 克之
13	①授業テーマ 近年のパラリンピックの実際 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、パラリンピック大会の現状やパラリンピックが競技 スポーツとしての性格を高めてきている背景を、具体例を列举して記述できるようにな る（A1、A2、B1、C1、D1）。 ③予 習（120分） 第12回授業で配布された資料を熟読してくる。 ④復 習（120分） 授業内資料を再読する。 ⑤担当者 近藤 克之
14	①授業テーマ パラリンピックのこれから ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、第11回目から第13回目の内容を踏まえ、パラリン

	ピックのこれからについて記述できるようになる（A1、A2、B1、C1、D1）。 ③予 習（120分） 第13回授業で配布された資料を熟読してくる。 ④復 習（120分） 授業内資料を再読する。 ⑤担当者 近藤 克之
15	①授業テーマ オリンピック・パラリンピック論のまとめ ②授業概要 担当教員の実務経験と第1回目から第14回目までの内容を踏まえ、オリンピック・パラリンピック双方からの知識を統合し、スポーツの意義や価値、在り方を記述できるようになる（A1、A2、B1、C1、D1）。第1回目から第14回目の内容を基に、小レポート（2回目）課題を実施する（解説動画を配信する）。 ③予 習（120分） 第1回から14回までの授業で配布された資料を熟読してくる。 ④復 習（120分） 授業内資料を再読する。 ⑤担当者 小山 裕三, 上野 広治, 近藤 克之
関連科目	特になし
教科書	特になし
参考書・参考URL	
連絡先・オフィスアワー	■ 連絡先 開講時に告知します。 ■ オフィスアワー 開講時に告知します。
研究比率	

